

(公財) 米盛誠心育成会だより 第25号

財団設立26年を迎えて

理事長 米盛庄一郎

私事で恐縮ですが、昭和32年生まれの私は今年で還暦・60歳を迎えました。高校時代の同級生と還暦祝いしようという計画したところ、11月



3日に城山観光ホテルに全国から130名が集いました。昭和48年3月21日付けの南日本新聞に、鶴丸高校合格者名簿525人の氏名が掲載されていました。そのうち3年後には513人が高校を卒業しました。還暦同窓会に合わせて名簿を確認すると、その中で15名の同級生が亡くなっています。祝宴に入る前に全員で、亡き同級生たちを偲び黙祷を捧げて、あらためて人生の区切りにおいて健康で生活できていることに感謝しました。

(公財) 米盛誠心育成会も設立26年を迎え、財団から奨学金給付や研究助成金を受けられた方々もそれぞれの分野で活躍されておられることと存じます。今後とも自分自身の目標に向かって邁進していただきたいものです。人生は永遠ではありません。必ず終わりが訪れます。しかしながら財団は理事、評議員が代わろうがその存在意義があれば、持続や継続は可能です。新たな奨学生、団体、地域に助成支援が出来るよう、財団設立の趣旨をしっかりと携えて、これからも財団の運営を行ってまいりますのでご支援・ご協力をお願いいたします。

平成29年度採用の奨学生

奨学金受給希望者8名の中から、所属学校等からの推薦書及び選考委員による面接の結果、6名が決定しました。財団発足以来の採用者は、369名になりました。

鹿児島工学院専門学校2年生2名  
鹿児島大学大学院生1名  
鹿児島大学留学生3名



米盛庄太郎立像の前にて

平成29年度研究助成金交付団体が決定

今年度の研究団体への助成金は、次の5団体に決定し、7月13日鹿児島大学において、米盛理事長から各団体代表者へ助成金目録の贈呈を行いました。



- \* 「白麹菌のクエン酸生産機構の解明とその制御に向けた基盤研究」 (麹菌研究グループ)
- \* 「焼酎滓バイオ ガスの電気化学改質による水素合成と二酸化炭素分解」 (鹿児島大学理工学域工学系機能性セラミック材料研究室(平田研))
- \* 「金属蒸着角形ガラス棒による温度と屈折率の同時測定が可能なセンサーシステムの構築」 (鹿児島大学大学院理工学研究科化学生命・化学工学専攻 肥後研究室)
- \* 「地方都市の街並み保存及び活用に関する国際比較研究―鹿児島県と全羅道の事例調査―」 (日韓街並み研究会)
- \* 「鹿児島県の河川を遡上する津波の数値解析」 (鹿児島大学河川津波研究グループ)

米盛誠心育成会の奨学生となって

鹿児島工学院専門学校 建築デザイン学科 坂元眞優



鹿大学長室で贈呈式

私は、祖母や叔父の病気の入院費や、弟の高校の学費など負担する両親に負担をかけまいと、少しでも家計や学費の足しになればと思い、アルバイトを2つ掛け持ちしておりました。しかし、2年生に進級すると、1年時から入部していた建築同好会の部長となり、授業や部活動の中の校外活動を重ねるたびに、さらに深く建築のことを学ぶ上での建築の楽しさや奥深さに気づきました。やりたいと思うこと、興味があることが増えていく中でアルバイトと勉学の両立は大変困難だと感じていました。その中で貴会の奨学生の話を担当の先生から教えて頂き、申請させて頂きました。採用の通知を頂いた時は、今までの米盛誠心育成会の奨学生である先輩方のような素晴らしい人になれるのだろうかという不安がありました。しかしその反面頂いたチャンスをつかりと掴み取り、期待に応えられるような人になりたいと思いました。奨学金を頂けるようになりアルバイトに入るための時間に余裕がでるので、その時間を学校での勉強は勿論、部活動などの対外的活動に積極的に参加する時間にと考えています。今までより、いっそう建築についての知識や地域との繋がりを活かし、鹿児島

についての理解を深め学んでいる建築という分野から鹿児島に貢献していきたいです。そして米盛誠心育成会の奨学生として恥じないような態度や姿勢で日々努力し過ごしたいと思っています。

鹿児島工学院専門学校 建築デザイン学科 折田俊祐

米盛誠心育成会の奨学生に採用され、先日の授与式でお礼の言葉を務めた事は、奨学生に採用していただいたことを実感できる素晴らしい機会となりました。式典の中で「落選した者もいる中で選ばれた6人だ」という米盛庄一郎理事長のお言葉に選ばれたことの責任の重大さを痛感しました。この初心を肝に銘じて学業に励むつもりです。

先日、進級後初回の定期試験が実施されました。順位は納得のいくものでしたが、試験内容を見てみると、分かっていたのに出来ていないという取りこぼしや理解が浅かった部分なども多く見受けられ、詰め甘さを感じました。今回の反省点はしっかりと次に活かせるような学習法を心掛けていきたいです。年に4回実施される定期試験ですが、昨年はすべての試験で総合成績1位を維持することが出来ましたので、今年度も決して慢心することなく日々の努力を積み重ね、目標である2級建築士資格取得へつなげたいという意識を持って成績を維持していきたいと思っています。

その他、9月に出場する学生コンペ「木の家設計グランプリ」や、来年3月の完成を目指している卒業制作課題など、自由設計の勉強にも力を注いでおります。毎日学友たちと遅くまで学校に残り、理想の建築の実現に向けて汗を流す忙しい学生生活です。このように充実した毎日が送れるのも奨学生に選んでいただいたからだと感謝の気持ちを忘れることなく学業に精進します。また偉大な先輩方から引継いだバトンを汚すことなく後輩たちへ繋いでいけるよう人として尊敬出来る態度で日常生活を過ごそうと決意しました。

鹿児島大学大学院 理工学研究科 鶴田篤弘

米盛誠心育成会の奨学生として採用され、鹿大学院での研究活動に専念できることを大変有難く幸せに感じております。家計が厳しく大学卒業後はすぐに就職し家族を支えたいと考えて鹿児島大学に入学しましたが、学部4年間で得た知識をもとに新たな発見を目的とした研究活動にもっと深く取り組みたいと強く思うようになり、本年度大学院への進学を決めました。進学後は研究活動により専念するとともにアルバイト等でおそろかになっていく勉強にあてる時間も増やしたいと思うようになり、今回奨学生として採用していただいた事で勉強や研究に励めることに喜びを感じるとともにありがたい機会をいただいたことを大変感謝しています。

私は現在ホテルが持つ発光酵素の機能の解明や改変による医療・食品分野への応用に向けた研究を行っています。発光酵素の詳細な機能解明と遺伝子工学的手法による機能改変により、ホテル発光の活用の可能性を大きく広げたいと考えています。研究はとても刺激的で世の中には自分の知らないことで溢れていると痛感させられるばかりです。

自分の知識や技術をどうやって身につけるのか、また未だ誰も答えを知らない新たな知見を得るためにはどのような道筋で研究を行えばいいのかといった課題解決能力や観察力など大学院への進学で得られるものは全て吸収して社会に出た時に即戦力となるような能力や人間性を養いたいと考えています。そして生まれ育った地元で少しずつでも自分が得たものを還元していけたらと考えています。経済的・精神的支援を米盛誠心育成会から賜うことは大変ありがたく、奨学生としての自覚と誇りを持ち思う存分精進していきたいです。

鹿児島大学 工学部 建築学科 史 可撃 (中国内モンゴル)

米盛誠心育成会の奨学生として採用されましたので、奨学金は授業料と生活費

及び勉学に必要な参考書の購入に使わせていただきます。

日本へ留学している中国人はみんなお金持ちだと思われていますが、私の家庭は日本語学校の授業料を出してくれただけで精一杯だったので、日本に来てからせめてこれ以上両親に負担をかけまいと思ひ、学業に支障をきたさない程度にアルバイトに励もうと決心しました。しかし、アルバイト、学業、部活を両立させることは思った以上に難しく勉強の時間とアルバイトの時間を確保するため好きな部活に参加する時間が少なくなりました。また、外国人に日本の文化をもっと理解してもらえらるボランティアもしていたのですが、その活動も減らしました。

ところが米盛誠心育成会の奨学金をいただけるようになり学費の問題が解決、学業に集中することができ、大変幸いに感じるとともに、大学生活の過ごし方を検討しつつ社会に責任を持っていきたいと思っております。

学部では建築設計、構造物学、設備計画、環境工学など幅広く勉強しています。特に構造物学に興味を持っています。そのため、4年生になったらできれば構造設計について研究したいと思っています。今後も米盛誠心育成会の奨学生としての誇りを持ち大学生としての素養を磨き社会に対して貢献できるような人材になれるように努めて参りたいと思っております。

鹿兒島大学大学院

理工学研究科 劉 佳昊 (中国遼寧省)

高校時代の頃、中国は科学技術の進歩をかなり追求していました。そのため企業は物理や化学の分野の発展のみを重視し、生物に対する影響や副作用を注目していませんでした。学生達も物理や化学分野の知識のみ勉強し生物に関する知識をほとんどわかりませんでした。その結果中国の科学技術や経済が成長しているとともに環境問題もだんだん浮かんできました。それに対し日本では科学技術の開発が盛んであるにも関わらず環境保全も長年重視されています。

私は科学技術を進歩させるだけでなく、人類の発展と自然を両立させる研究を勉強したいと思ひ、日本に留学することを決意しました。

近年、中国の経済成長は著しく物価も上昇しましたが国民の収入は上がっていません。その結果、両親は自営業をやめ、もともと私の生活に支援しなければならぬ両親にとつて更に負担をかけることになってしまいました。一方私は日々実験が忙しくアルバイトできない状態で自分の目標を達成するのは非常に難しくなりました。せつかく日本の国立大学に入学することができ、自分の目標を達成できなければとても残念であると考え、米盛誠心育成会を申し込み、幸いにも米盛誠心育成会の奨学生となりました。

幼い頃ずっと日本の科学技術に憧れていた自分にとつて充実した日々を送ることができると考えています。卒業後は、中国と関連のある会社の研究職に務め、日本の科学者の研究に対する取り組みや先進技術を中国に広げるために努力し、日本と中国だけでなく世界にも貢献したいと思っております。

鹿兒島大学大学院 理工学研究科

ライフイク アブドゥール (バングラデシュ)

私は母国のバングラデシュで生化学と分子生物学の修士号と修士号を取得しました。母国の大学で学んでいたときから私は画期的な学術環境で分子生物学の博士号を取得することをいつも夢見ていました。日本には最高位の研究環境が用意されており、最先端技術を使って自分の研究に没頭することが出来ます。

現在、私は博士の3年生で妻と娘の家族3人で鹿兒島に住んでいます。卒業後は母国へ戻り日本の大学院で学んだ技術と研究の知識を活かせる仕事に就くことを希望しています。母国の発展に貢献できるように自分の技術を磨いていこうと思ひます。5歳の娘は保育園へ通っており、日本語の言葉をたくさん覚え日本語で会話ができます。彼女はとも日本文化や習慣に興味があります。妻も日本での生活を楽しんでいきます。日本の食文化につ

いて一生懸命学んでおり、食材や調理法等に強い関心を持っています。

おかげさまで日本で家族と楽しい生活を送りながら自分の研究を進めることができ、大変感謝しております。また奨学生のために様々なイベントを計画して下さった方々に心より御礼申し上げます。

### 平成28年度奨学生終了式・進路

29年3月、3名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなご一層、ご活躍ください。進路先は、次のとおりです。

- ◇専門学校生  
鹿兒島工學院専門学校
- ◇専攻科へ進級  
高専生
- ◇コアツ工業(株)へ就職  
留學生



鹿兒島大学大学院へ進級  
専攻科へ進級  
高専生  
コアツ工業(株)へ就職  
留學生



理事長あいさつ

### 研究助成金進捗状況報告会

28年度、2ヶ年にわたる研究について助成支援するとして決定した鹿兒島大学の4件の研究テーマの進捗状況と、最終年度の助成金額を決定する為の報告会を4月24日開催しました。



各研究テーマの代表者から報告があり、研究も順調に経過しているとの報告がなされました。出席した役員からは「申請計画どおり、いずれの研究も順調な成果が期待できそうです。」と好評でした。

### 夏休み理科実験教室への支援

7月30日、小・中学生を対象とした「理科にもっと興味を持ってもらおう」との趣旨から、鹿兒島大学で早稲田大学とのコラボによる理科実験教室が開催されました。

この取り組みに対し、当財団は工学部柿沼教授の今年度採択の「津波研究助成金」の一環として支援しました。

当日は、「波の不思議にせまる／無電解メッキと合金」の2テーマについて1組30名ずつの親子が午前、午後の2回に分けて開催されました。参加した子供からは「波の運動」や「津波の原理」、また「銅板」が熱や薬品により銀色や金色に変化するさまに歓声を上げ、皆様に「楽しかった。もっと体験したい」との感想が寄せられました。



教室に参加した皆さん



教室に参加した皆さん

### 県内高校生へ図書贈呈

次代を担う若者に先人達の足跡を著した書に触れ、何事にもチャレンジする気概を持つて成長して欲しいとの思いから、今年も本県高校



贈呈 県古川教育長へ

校生に図書を贈呈しました。平成30年は明治維新から150年の節目の年に当たり、NHKの大河ドラマで

「西郷どん」が放映されることもあり、西郷さんの足跡を著した「無私と胆力の人 西郷隆盛の本を、公立高校へは県教育委員会、私立高校へは県私立学校協会経由で贈呈しました。

また、西郷さんと縁のある奄美の龍郷町や和泊町の図書館へも贈り感謝されました。



### 研究助成金成果報告会の開催

11月27日、平成27年度から2カ年に渡り助成した4テーマのうち、鹿兒島大学の2件について報告会を開催しました。

当日は、財団役員等20名の出席があり、藤田理事から成果についての概要説明がなされた後、海洋土木工学専攻の齋田准教授(冬季から春季に九州西岸で頻繁に発生する「あびき」と呼ばれる副振動の発生予測に関する研究)、農学部の濱中准教授(本県農産物の販路拡大や従事者の所得拡大に寄与する為、高機能性・高安全性及び高保存性が可能な処理技術確立する為の研究)から、パワーポイントを使って報告がなされました。

発表者からは「学外の方に聞いていただく貴重な機会が与えられ緊張したが、今後の研究に活かす意見などがあり参考になった。」との感想が寄せられました。



濱中准教授



齋田准教授

### 事務局から財団奨学生終了生の皆様へ

\*終了者で住所の変更等ありましたら、必ず御連絡下さい。

〒890-0014 鹿兒島市草牟田二丁目二一七

公益財団法人 米盛誠心育成会事務局 神田・水元

TEL (099) 226-0205  
FAX (099) 224-1562  
E-mail kanda@yoneg-net.co.jp